

尾瀬 スリバナ沢 沢登り山行報告

【山 域】尾瀬

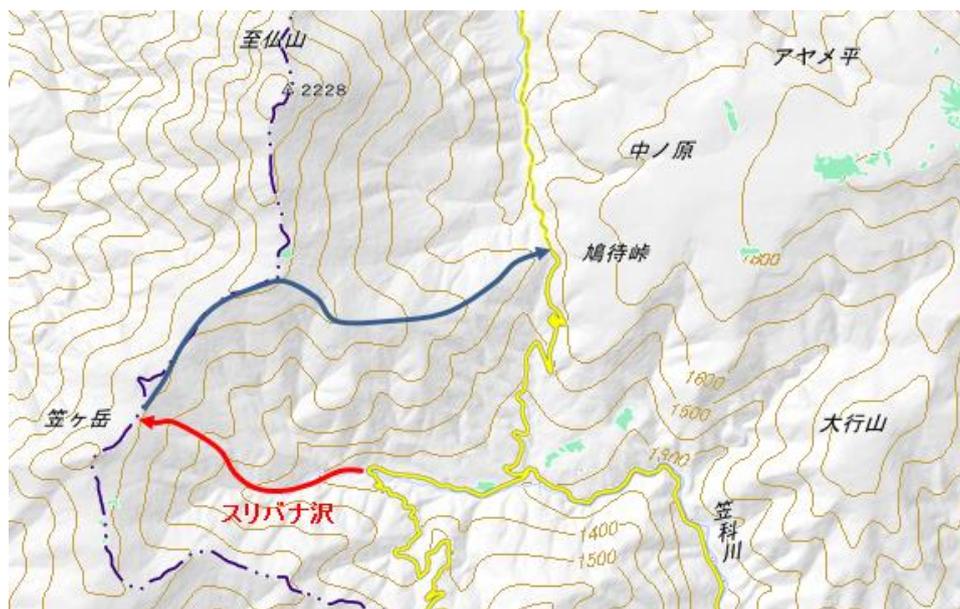
【日 時】2018年8月4日（土）晴れ

【参加者】CL 柘植・SL 鈴木（憲）・石井・藺田（記録）

【行 程】

8/3（金）千葉駅北口⇒沼田 I C⇒道の駅白沢（仮眠）

8/4（土）道の駅白沢 5:30⇒笠根橋（入渓地点）7:00→（笠科川遡行）→スリバナ沢出合 8:00
→（スリバナ沢遡行）→笠ヶ岳付近の稜線 11:00 →悪沢岳 12:30→鳩待峠 14:00⇒
（タクシー）14:20 笠根橋手前駐車地点



笠根橋の手前の路肩に駐車して沢支度を済ませ笠根橋の袂から入渓する。水は少し冷たいが明るく尾瀬の沢は爽やかだ。ゴーロ歩きの中に簡単に登れる数メートルの滝が点在しスリバナ沢出合に8:00頃到着。



入渓して最初の滝



二番目の滝？

本流から分かれて水流の少ない右俣にルートを取り更に進むが次々に現れる小滝が気持ち良い。1700mを超えるあたりから沢も細くなり藪がかってきて歩きにくくなり、太陽もじりじりと照りつけ暑くなってきた。1870m付近では沢も枯れて根曲がり竹の藪漕ぎとなる。



ちょっとした激流



まだまだ滑滝が続く



ちょっとシビアな小滝を登る石井さん



笑顔でつめのヤブ漕ぎ



登山道に出ると笠ヶ岳が目前



日光白根方面を眺めながら鳩待峠へ下山

フェルトの沢靴は竹を踏むと滑りやすい。藪の薄いところを探して歩き 30 分ぐらいの藪漕ぎで笠ヶ岳と小笹の間の登山道にでた (11:00)。すぐ先には堂々たる笠ヶ岳がそびえている。本日は笠科川本流を下降して入渓地点に戻る予定だったが、沢の下降はロープを出しながらでは時間がかかりそうなので、急遽予定を変更して鳩待峠まで登山道を下山することになった。小笹の脇を通り悪沢岳まではおおむね樹林帯だが暑くてペースが上がらない。やっとオヤマ沢田代に着き尾瀬ヶ原を見渡せる稜線に着いた。その後もダラダラとゆっくり下山し元気な若者達に次々と抜かれて行く。尾瀬に来たのに本当に暑ーい。やっと鳩待峠に到着(14:00)。

鳩待峠の駐車場には運良く、予約待ちのセダンのタクシーがまだ時間に余裕があるということで、我々の駐車地点まで走らせてくれることになった。ありがたい。タクシーの運転手さんは女性で感じがいい。今年の尾瀬は熱中症でドクターヘリで運ばれる登山者が多く、ヘリが飛び交っている状態だとのこと。明日の沢は今日以上に長い行程の上、また暑い日になりそうなので予定を変更して栃木のスッカン沢にハイキングに行くことになった。

スッカン沢周辺ハイク報告【山 域】 高原山

【日 時】 2018年8月5日（日） 晴れ

【参加者】 CL 柘植・SL 鈴木（憲）・石井・菌田（記録）

【行 程】

山の駅たかはら 10:30⇒おしらじの滝 P 10:35⇒おしらじの滝 10:40⇒おしらじの滝 P 11:00
ゆうひ橋 11:10⇒仁三郎滝 11:40⇒ゆうひ橋 12:10



おしらじの滝は水は流れておらず釜だけ



スッカン沢は遊歩道を仁三郎の滝まで

翌日は涼を求めて以前行ったことのあるスッカン沢に向かう。とは言っても今日は沢登りではなくハイキングである。山の駅たかはらは以前来たときは閑散としていたが、涼を求めてたくさんのお客で賑わっていた。まずは近頃テレビで紹介されてからブームになっていると言う「おしらじの滝」へと向かう。山の駅の売店の人に教えていただいた駐車場から5分ほど下るとブルーの滝つぼが現れた。滝は枯れているが滝つぼの淵から水が湧き出ている透明度がすごい！釜の底がはっきりと見える。泳ぎたいところだが水深3mくらいあり、そんな勇気はない。水は冷たく手を浸しただけでも気持ちがいい。やっと涼しい場所にこれた。秋も紅葉がきれいだろうなあ。次へ移動。

車で移動しゆうひ橋の駐車場に向かったが、駐車場がいっぱいで戻って長寿の水の湧き水の路肩に駐車した。ゆうひ橋を渡って右側の階段を下りてスッカン沢の遊歩道に入る。沢の水はいたって平凡な透明色だ。しかし素廉の滝が現れるとスッカン沢特有の青白い色となり、見た目にも涼しい。この沢周辺はいたるところ岸壁から湧き水が流れ出ている。迫力ある仁三郎の滝まで歩いて本日のハイキングはここまで。マイナスイオンをたっぷり浴びてのんびり散策し、夏休み気分を味わえた1日でした。

記録 : 菌田富久美